

逐年累積記録とするところから、過年度に引き続く体裁とし、大幅な変更はさけるが、新規事業の成果は積極的に記録し、その年度の特徴として位置づける。

(2) 内 容

昭和55年度の県教育行政の実績

(3) 規格・ページ数・部数

B5版横組み 320ページ 1,400部

(4) 配布対象

教育庁各課・所・館、小・中・高・特殊教育諸学校、市町村教育委員会、知事部局関係各課、県議会議員、文部省、都道府県教育委員会、その他関係教育機関等

## 5 福島県の教育

(1) 編集方針及び内容

本県教育界の実状と教育行政の要点を図表化して編集し、教育庁への来訪者や諸会合の出席者等に配布して、教育についての理解を深める。

(2) 規格・ページ数・部数

A版長6つ切り、16ページ 2,000部

(3) 配布対象

県教育行政機関への来訪者、研究大会等諸会合への出席者、市町村教育委員会、文部省、各都道府県教育委員会等

## 6 教育庁各課(所・館)の広報紙・誌

総務課以外の各課・所・館の広報刊行物は、次のとおりである。

(55年度)

刊行物名	課(所・館)	発行回数	規格	ページ数	発行部数
社会教育	社会教育課	4	B5	20	2,100
体育時報	保健体育課	1	B5	70	1,100
ふくしま福利だより	福利課	4	B5	8	23,500
所報ふくしま	教育センター	5	B5	32	1,500
館報あづま	県立図書館	3	B5	8	2,000
所報	少年自然の家	4	B5	4	1,700
県北の教育	県北教育事務所	3	B5	4	3,600
県中教育	県中教育事務所	4	B5	4	4,150
教育広報県南	県南教育事務所	3	B5	4	1,600
あいづね	会津教育事務所	4	B5	4	2,900
教育広報南会	南会津教育事務所	2	B5	4	750
教育広報相双	相双教育事務所	3	B5	4	2,000
教育広報いわき	いわき教育事務所	3	B5	4	2,500
文化、福島	文化センター	12	B5	16	3,000
海青	海浜青年の家	4	B5	8	2,500

## 7 教育長定例記者会見

教育に対する県民の期待と関心の高まりに伴い、教育行政施策の普及推進のため、定期的に教育長と県政記者(14社)との会見を行った。

会場 教育委員室

内容 県民に広報を必要とする重要な施策及び行事等。

昭和55年度に取り上げた主な内容は、次のとおりである。

4月28日 昭和55年度福島県公立高等学校入学者選

抜の結果について

9月24日 昭和55年度福島県文化功労賞受賞者、教育文化関係功労者の決定について

11月27日 昭和56年度県立高等学校生徒募集定員について

3月25日 昭和55年度末人事異動について

## 8 記者発表

各報道機関をとおして、教育行政についての県民の理解と協力を得るため、庁内各課の広報を要する事項について、随時、県政記者クラブ及び社会記者クラブで記者発表を行った。月別の発表件数は、次のとおりである。

昭和55年度月別記者発表件数(資料提供を含む)

月.	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	6	12	11	18	10	5	8	7	11	9	12	10	119

## 9 地区別教育広聴会

教育行政に対する広聴活動として、昭和47年度から地区別教育広聴会を実施してきたが、55年度は次の3地区で行った。

第1回 県中地区 5月29日(木) 郡山合同庁舎

第2回 相双地区 8月20日(木) 原町合同庁舎

第3回 県北地区 11月25日(火) 全連会館

(1) 目 的

県内の学校の教職員並びに父兄等から教育指導の実態や問題点に対する意見等を聞き、本県教育委員会の今後の行政施策の参考に資する。

(2) テ ー マ

- ① 県中地区  
女子教員にきく
- ② 相双地区  
新任教員にきく
- ③ 県北地区  
中堅教員にきく

(3) 参 加 者

- ① 県中地区(9名)  
小学校教員2名、中学校教員3名、高校教員2名、父兄代表1名、県婦人教育指導員1名
- ② 相双地区(9名)  
小学校教員3名、中学校教員4名、高校教員1名、養護学校教員1名
- ③ 県北地区(9名)  
小学校教員3名、中学校教員3名、高校教員2名、養護学校教員1名

(4) 県教育委員会(教育庁)からの出席者

教育委員、教育長、教育次長、関係課長、開催地区教育事務所長、総務課主幹及び広報係員

## 10 市町村教育委員会広報連絡協議会

(1) 福島県市町村教育委員会広報連絡協議会(南会津地区)

- ① 趣 旨  
教育施策の普及徹底を図るため、市町村教育委員会に